

第1回高速道路ナンバリング検討委員会(4月8日)における委員からの主な意見

論点等	委員からの主な意見
I. 高速道路ナンバリングの考え方 1. 高速道路ナンバリングの対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・全国津々浦々まで番号があるというあり方のほうが親切。
2. ナンバリングルール (1) どういうものと整合を図るべきか。 (2) 道路の機能を表現すべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ・桁数を少なくするように技術的な検討をすべき。 ・出発地の空港と目的地の空港から番号がつけられる航空機の便名が参考になる。 ・2桁の国道番号に合わせることに配慮すべきだが、3桁の国道番号については、それ程配慮する必要はない。 ・最もシンプルなのは何かということに重点を置いて、たたき台案をつくってみるといような発想の手順が必要。
3. 施設(IC・JCT等)のナンバリング	<ul style="list-style-type: none"> ・IC番号の認知度を高めるべき。
4. ナンバリングの活用方法 (1) 路線番号を表示する案内標識をどうデザインするか。 (2) 地図・カーナビ、インターネット等でどう活用するか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンバリングにかかる費用や時間に配慮し、複雑な意味を持たせず、シンプルなデザインにすべき。 ・コミュニケーションでは、意味とイメージが一對でユーザは理解している。意味だけが伝われば十分ではなく、イメージも重要視しないといけない。また、イメージを統一的に使うことが重要。デザインは、現状の標識やカーナビ等で使えるような条件下で、汎用性が広いものを探り出す必要。
II. まとめ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今回は、内容の完璧性よりも、実現することを最優先。最小の時間と最小の労力を基本に置く。 2. 国道番号を全部重視するということではなく、特に昭和27年以降に付けられた国道番号で国土観を持っているものは、なるべく尊重。 3. ユーザフレンドリーで、わかりやすいことを重視。数字の桁数を少なくし、シンプルにする。 4. 原則の考え方を整理し、それを仮に適用してみたときにうまくいか具体的チェックをする。 5. エンブレム等のデザインが重要。方向の案内やIC番号も検討。